

新着図書から佐賀に関する本のご紹介

(平成27年6月16日掲載)

貸出と予約の開始は6月16日(火曜日)、インターネット予約の開始は6月23日(火曜日)です

『国体論はなぜ生まれたか』
米原 謙／著
ミネルヴァ書房 刊
近代日本の見えない磁場「国体論」とは一体何だったのか。平田派国学、岩倉具視、福地櫻痴、裕仁皇太子、…。思想としての国体論が誕生する現場に立ち、幕末以降の思想形成と、その変容の跡をたどる。 佐賀出身の久米邦武に関する記載あり。
請求番号：155 /Y,82

『肥前鶴田氏の研究』
鶴田 徹／著
鶴鳴社 刊
唐津市厳木町にあった鶴田氏の家系をたどる
請求番号：288.3 /Ts,87

『絵描き 中島潔地獄絵1000日』
西所 正道／著
エイチアンドアイ 刊
70歳を超えた画家・中島潔が、これまで描いてこなかったテーマ「地獄絵」を描いていく中で、何に悩み、何に苦しみ、何を支えにし、どんなことを言葉として紡ぎ出すのか…その道のりを伴走したノンフィクション。 中島潔は佐賀県出身。
請求番号：726.5/ N,81

[➡バックナンバーはこちら](#)

[➡インターネット予約・貸出についてはこちら](#)

郷土資料室の新着資料一覧

[→詳細はこちら](#)

郷土資料室の本は貸出を行っておりません。
郷土資料室での閲覧をお願いします。

[資料紹介へ戻る](#)

[佐賀県立図書館のトップページへ](#)